

## 2 給食従事者

### ① 給食従事者の役割・分担

・管理栄養士・栄養士・調理従事者・事務・介護職員等の役割分担を決めている

【共通】防災計画に役割・分担を決め、給食部門独自の防災計画に記載している

給食従事者の役割分担については、施設全体のマニュアルとは別に給食部門で作成しているマニュアルに記載している。

【事業所】委託業者の役割を明確にしている

委託業者との契約の中には、災害時の対応は含まれていない為、施設の担当者が実施する事になっている。備蓄食品を配布する担当者を決めている。

### ② 給食従事者への周知・啓発

・周知・啓発の具体的な内容がある

【病院】避難訓練時に防災計画に関する講義を行っている

定例で開催する避難訓練の内容の中に防災計画に関する講話が組み込まれている。定期的な普及啓発の場を設ける事により、すべての職員に認知されるようにしている。また、避難訓練に参加できなかった職員には避難訓練の内容を回覧し、周知徹底するようにしている。

【社会福祉施設】定期的に行う会議等で周知している

定期的に行う会議や検討会等を通じて防災計画に関する内容について周知を行っている。

【病院】担当者には防災計画を紙ベースで配布、他職員には、データを常時閲覧出来るようにしている

給食従事者に対して防災計画及び栄養科職員の行動マニュアルを配布している。また、職員誰もがいつでも、内容を確認出来るように職員共通で閲覧可能なフォルダにデータを保存している。

### ③ 防災計画に係る訓練

・給食提供の調理技術の向上等の訓練をしている。

【児童福祉施設】給食担当者以外の職員に対し備蓄食品の使用訓練を行っている

災害時に給食担当の職員だけでなく、保育士も備蓄食品を扱えるように、調理と試食の訓練をしている。

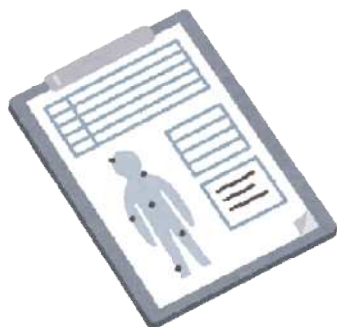
【共通】3月11日を防災の日として、賞味期限が近くなっている備蓄食品を給食利用者に提供している

3月11日の防災の日には非常食として備蓄しているα化米や缶パンを給食で提供している。防災意識を高めたり、給食利用者が災害時に食べる事ができるかを確認する機会としている。



#### ④ 喫食者の個別把握・対応計画

- ・対象者対応リストを作成している
- ・対象者の直近の状況を把握している



#### 【病院】直近1ヶ月のデータは紙で保管している

ネットワークが寸断され、電子情報が閲覧できない事態を想定し、直近1ヶ月の利用者の基本情報についてのデータを紙に印刷し保管している。

#### 【病院】必要な様式は紙ベースで備えておく

非常時には献立票や食札など給食提供に必要と思われる様式は、予備の分を紙ベースで備えておき、非常時の作業をなるべく少なくするようにしている。

#### 【社会福祉施設】利用者の基本情報を一覧にしている

給食提供に関する利用者の基本情報（Dr名、特別食対応、禁食、アレルギー対応等）の一覧表を作成し、備蓄食品と共に備えている。

#### 【学校】食物アレルギー、特定疾患等の配慮が必要な児童を把握している。

食物アレルギーや特定疾患を持つ児童の個別把握を行い対応に活かしている。健康調査票や個別面談等を通じ情報収集を行っている。